

6) アジア防災センターの設立

このような経緯を経て、日本政府でアジア防災センターの組織や運営経費等について関係各国と協議を重ねた結果、アジア防災センターは地元兵庫県の協力も得て、1998年7月30日に兵庫県神戸市に設立された。

1-2 組織及び体制

アジア防災センターは当初メンバー国が22カ国、アドバイザー国が4カ国及びオブザーバー1つによって構成されていたが、2000年8月にアルメニアが、2002年7月にキルギスが加盟し、現在メンバー国は24カ国となっている。また、2004年3月にアメリカ合衆国が、5番目のアドバイザー国となった。

1-3 活動方針とこれまでの活動内容

1-3-1 活動方針

アジア防災センターでは、基本的な活動方針を以下の通りとしている。

(1) 防災情報の共有 (Information Sharing)

- ① ホームページを通じた最新災害情報・メンバー国防災情報・グッドプラクティス・多国語防災用語集などの提供
- ② GLIDE (世界災害共通番号) の推進
- ③ 国際会議の開催 等

(2) メンバー国の人材育成(Human Resource Development)

- ① 防災セミナー・研修の開催
- ② 外国人研究員招聘プログラムの実施 等

(3) コミュニティの防災力向上(Building Community Capabilities)

- ① コミュニティ・住民参加を促すツールの開発・普及
- ② NGOアジア防災・災害救援ネットワーク ADRRN (Asian Disaster Reduction & Response Network) への支援 等

1-3-2 これまでの活動内容

アジア地域の国際防災協力拠点として幅広く活動するためには、まずは、組織の存在を広くアピールし、関係国及び関係機関との協力関係を樹立していくことが、何にもまして重要であった。

そこで、関係する国際会議などへの出席、関係国への訪問調査、関係機関からの視

察・研修の受入れなどを積極的に行うとともに、1999年から毎年、メンバー国、アドバイザー国や国連等の国際機関を招聘して、アジア防災センター国際会議（メンバー国会議）を開催している。

また設立初年度から開始している世界の災害情報等の情報提供体制を逐次強化するとともに、専門家会議等で入手したメンバー国の情報等をもとに、各国の防災体制等のデータベースを構築し、順次情報提供を行っている。

このような活動を通じて、防災分野におけるアジア防災センターの知名度が国際的にも徐々に向上し、1999年7月ジュネーブで開催された国際防災の10年の締めくくりとなる防災会議(プログラム・フォーラム)では、この10年間のサクセス・ストーリー(成功事例)10題の一つに選ばれ、130カ国700人の参加者に活動内容を紹介する機会を得た。

また、2000年2月から、国連人道問題調整事務所(OCHA)神戸と国際防災共同プロジェクトを立ち上げ、防災分野や災害対応分野における連携協力体制の整備を通じて、アジア地域における災害対応力の強化も図ることとなった。これにより、アジア防災センター内にOCHAアジア災害対応ユニット(OCHAアジアユニット)が開設され、災害対応アドバイザーが配置され、それぞれが有する情報を共有し活用しながら、密接な連携の元に活動している。本年度は、OCHAと「総合的災害リスクマネジメント政策(TDRM)」国際会議(2003年12月、神戸)の共同開催などアジア地域の災害対応能力向上のための人材育成事業を推進している。

2001年8月には人道及び災害情報を世界にインターネットを通して提供する国連災害情報事務所(OCHA Relief Web)を開設し、アジア太平洋地域での情報交換を促進することにより、災害防止、緊急援助・人道支援の強化に寄与している。

さらに、GDIN(Global Disaster Information Network)国際会合キャンベラ会議(2001年3月)では世界中で蓄積されている災害情報を有効に活用するため、災害ごとに世界統一の番号を付ける災害統一番号(GLIDE)を提案し、国連災害情報事務所、ベルギールーベンカトリック大学災害疫病学研究所などと共同で開発、普及に努めており、世界的な防災情報共有化の動きに貢献している。

2002年からは、国連国際防災戦略(ISDR)事務局のタスクフォース(評議委員)としても任命され、ISDR活動を積極的に推進しており、「持続可能な開発・世界サミット(World Summit on Sustainable Development)」のカンボジア(2001年11月)、インドネシア(2002年5月)の準備会合に参加し、ヨハネスブルグサミットでの政治宣言に「防災」の項目を明記することに貢献した。

2003年3月に開催された「世界水フォーラム」では、アジア開発銀行が担当した「リスクとともに生きる／持続可能な開発に向けて」セッションをISDR事務局と共

催するなど、ISDR 事務局と連携を取りながら、国際防災戦略活動に寄与している。

また、国連大学、日本政府、ISDR との共催にて、地震防災（2003 年 10 月）、都市水害（2004 年 3 月）、災害からの復興（2004 年 8 月）を各テーマに国際防災オープンフォーラムを開催してきた。

2005 年 1 月に神戸で開催された「国連防災世界会議」では、直前に発生したスマトラ島沖地震と津波対策を含め、復興・リスクコミュニケーションなど各テーマ別セッション、リージョナルセッション、パブリックフォーラムなどに積極的に参画し、会議の成功に寄与した。

また、アジア防災センター国際会議を国連防災世界会議期間中に開催したため、メンバー国の防災担当者だけでなく、他の国々や国連機関、国際機関の関係者、また一般公開フォーラムの形式を取ったことにより、防災に関心のある一般の方々も参加する盛大な会議となった。

これらに加え、メンバー国の防災能力向上のため、これまでに 25 名のメンバー国客員研究員の受け入れや防災教育・訓練、メンバー国とのセミナーなど精力的に活動を進めている。今年度は、専門家会議、セミナー、研修などの開催を通じて、防災力の向上に貢献を行ってきたことが認められ、フィリピン政府から「カラサグ賞（防災功労賞）」を受賞した。

表 1-3-2-1 これまでの主な活動記録

1998.7.30	開所式典開催 会場：IHD ビル 3 階参加者数：約 150 人
1998.9.1	世界災害速報提供開始
1998.10～ 1999.3	メンバー国調査(韓国、フィリピン、マレーシア、シンガポール、バングラデシュ、ベトナム、タイ、ロシア、インドネシア、パプアニューギニア、中国)
1998.11.7	バングラデシュ外務大臣アブドゥス・サマド・アザド氏来訪
1998.11.9～ 11.13	WHO 西太平洋地区・緊急事態対応力強化のための国際ワークショップ(フィリピン・マニラ)出席<ADRC の開設について紹介>
1998.12.1	防災人材データベース運用開始<51 ヶ国約 1,400 人登録済み>
1999.2.15	ADRC 国際シンポジウム開催 会場：兵庫県公館 <参加者数：21 ヶ国約 250 名（一般参加を含む）>
1999.2.16～2.18	ADRC 専門家会議開催 会場：IHD ビル <参加者数：21 ヶ国 1 機関 30 名>
1999.2.23～2.26	ESCAP-IDNDR Regional Meeting for Asia(タイ・バンコク)出席 <ADRC の活動内容を報告>
1999.3.18	国際防災の 10 年事務局長フィリップ・ブレ氏来訪
1999.5～7	阪神・淡路大震災関連データベース、防災研修データベース、防災体制データベース、国別防災総合情報等をインターネット上に順次発信
1999.7.5～9	国連防災の 10 年プログラム・フォーラム(スイス・ジュネーブ)出席 <サクセスストーリーとして、ADRC の開設・活動を説明、セッション「災害予測等のための情報伝達技術」をコーディネート>

1999.7.12～7.16	スイス政府、フランス政府、国連人道問題調整事務所、ルーベック大学災害疫学研究所(ベルギー・ブリュッセル)等調査
1999.7.23～	メンバー国から順次研究員受入れ開始 <韓国、ベトナム、ネパール、インドネシア>
1999.9.23	パプアニューギニア政府とジョイントプロジェクト開始 <津波防災普及啓発>
1999.9.29～10.4	1999年9月21日台湾中部の地震に対する台湾緊急支援チームに参加
1999.11.5	ルーベック大学災害疫学研究所と「防災情報収集協力についての覚書」締結
1999.12.6～8	第2回 ADRC 専門家会議開催 会場：IHD ビル <参加者数：24ヶ国4機関36名>
2000.1.13	世界銀行・パリ会議に出席
2000.2.7	国連人道問題調整事務所(OCHA)アジアユニット開所式開催
2000.4.26-29	第3回 GDIN 国際会合(トルコ・アンカラ)に参加<ADRC の活動、VENEN システムを報告>
2000.5.3-4	アルメニア共和国 NSSP 訪問<ADRC への新規加盟についての意向聴取等>
2000.8.31-9.4	防災フェア2000 参加 ブース出展 会場：そごう神戸店
2000.10.24-27	SAGIP2000(フィリピン・マニラ)参加<ADRC のメンバー国の防災情報共有について報告>
2000.12.5-7	第3回 ADRC 専門家会議開催 会場：IHD ビル <参加者数：26ヶ国6機関40名>
2000.12.8	国際防災戦略アジア地域会合 会場：三田共用会議所
2001.1.	防災技術展出展 会場：神戸国際展示場
2001.2.5-6	世界防災会議2001 共催 会場：淡路夢舞台国際会議場
2001.3.20-23	GDIN2001(オーストラリア・キャンベラ)参加 <防災統一番号を提案し採用される>
2001.4.14-27	日本政府インド西部地震調査参加<インドグジャラート州>
2001.6.4-8	ADRC・インド政府共催 インド多国間ミッション<ADRC メンバー国によるインド西部地震被災地調査>
2001.6.18-23	WHO 西太平洋事務所主催 防災国際会議出席<WHO Health Mapper と ADRC VENTEN との共同プロジェクト開始>
2001.6.28-29	GDIN アジアパシフィック会議出席 (タイ・バンコク)
2001.6.28	ADPC (タイ・バンコク) と事業協力についての覚書交換
2001.7.4-6	OCHA・ADRC 共催 防災会議 (ネパール・カトマンズ) を開催
2001.8.16	OCHA リリーフウェブ開所式
2001.8.16	国連大島事務次長来所
2001.8.28	フィリピン アンジェロ トーマス レイエス国防大臣兼国家防災会議議長来訪
2001.8.27	GIS 国際会議開催 (神戸)
2001.10.4-5	ISDR 会議出席<ジュネーブ>
2001.10.6-20	シンガポール市民防衛庁と共催で都市救援トレーニングを開催し、メンバー

	国の担当者を研修
2001.11. 6	韓国第 1 回国際防災協力セミナー出席（韓国・ソウル）<西川副所長基調講演>
2001.11.13-15	JUSTSAP（HAWAII 島）に出席
2001.11.27-29	The Asia Pacific High Level Regional Meeting For the World Summit on Sustainable Development(カンボジア)に出席<持続可能な発展に防災対策が不可欠であることを最終ステートメントに盛り込む>
2001.11.29-30	台風委員会（アメリカ・ハワイ）出席<防災情報発信に ADRC のウェブの活用を提案し採択される>
2001.12.1-17	フィリピン国立地震火山研究所と共催で教育関係者防災トレーニングを開催（メンバー国の担当者を研修）
2002.1.9	インド パワール国家防災会議副議長（国務大臣）来訪
2002.1.17	村井 仁防災担当国務大臣来訪
2002.1.22-23	第 4 回アジア防災センター国際会議開催（インド・デリー） 22 カ国 10 機関 80 名参加
2002.1.24	ISDR アジア会合開催（インド・デリー） 22 カ国 10 機関 80 名参加
2002.1.21-2.22	JICA 防災管理者セミナー開催<12 カ国 14 名の研修生に約 1 ヶ月間防災研修を実施>
2002.2.5-7	OCHA ジュネーブシンポジウム出席<ADRC 活動および災害統一番号プロジェクト紹介>
2002.2.14-15	第 6 回震災対策技術展に出展（神戸国際会議場）
2002.2.20-22	アジア地域災害 NGO シンポジウム開催（OCHA 神戸、ADRC 共催）<16 カ国の NGO、国連諸機関、内閣府、外務省、兵庫県等約 80 名が参加>
2002.2.21	国連国際防災戦略(ISDR)事務局長 サルバノ ブリセーニョ氏来訪
2002.2.24-28	ニューヨークワールドトレードセンター日本政府調査団に参加
2002.2.27-3.1	カザフスタン 国際防災エキスポに参加<アジア防災センターの活動およびインターネット防災展の紹介>
2002.3.12-13	世界気象機構・ESCAP 共催 サイクロン委員会出席<ミャンマー>
2002.3.15	NASDA・内閣府・ADRC 共催 衛星防災活用実験
2002.4.25-26	国連国際防災戦略(ISDR)タスクフォースメンバーとして、第 5 回 ISDR タスクフォース会合に参加
2002.5.20-23	キルギス共和国主催「国際緊急対応ワークショップ」にリソースとして参加<アジアにおける緊急対応事例を紹介>
2002.5.27-6.8	World Summit on Sustainable Development 最終準備会合(インドネシア・バリ島)の「災害と持続可能な開発」(ISDR 主催)にリソースとして参加
2002.6.12-14	ADPC(タイ・バンコク)と共催で「第 2 回アジア地域防災関連国際機関協力会議」開催（タイ・バンコク）
2002.6.19-21	GDIN ROMA 2002 会議(イタリア・ローマ)にリソースとして参加<GLIDE システムについて紹介>
2002.6.24-25	ISDR 早期警報ワークショップ（ドイツ・ポツダム）にタスクフォースメンバーとして参加
2002.8.7-9	「総合的災害リスクマネジメント政策(TDRM)」アジア会議を国連 OCHA 神戸と共催（神戸市）
2002.8.9	国連国際防災戦略（ISDR）と世界防災白書(Living with Risk)を発刊

2002.8.29-9.2	「防災フェア 2002」(内閣府・福岡市等主催、福岡市)に出展
2002.8	20 世紀自然災害データブックを発刊
2002.8.30	NASDA・内閣府・ADRC 共催 衛星防災活用実験
2002.9.1	「防災の日」に静岡県御前崎の総合防災訓練に参加
2002.9.13-14	「第 2 回シンガポール人道援助会議」(シンガポール国際財団、シンガポール)に基調講演者として参加
2002.9.15-17	ASEAN 防災専門家会議(ASEAN 主催、ベトナム・ハノイ)に地域オブザーバーとして参加 <TDRM アプローチについて紹介>
2002.9.25-27	「防災分野の地域機関・ネットワーク会議」(UNDP 主催、スイス・ジュネーブ)にリソースとして参加
2002.10.24-25	国連国際防災戦略(ISDR)タスクフォースメンバーとして、第6回 ISDR タスクフォース会合(スイス・ジュネーブ)に参加
2002.10.28	「アジア地域巨大都市の安全性向上のためのシンポジウム」(アジア工科大学院主催、タイ政府、内閣府後援)にリソースとして参加
2002.10.29	「インド防災デーシンポジウム」にリソースとして参加、「ADPC 防災会議」にオブザーバーとして参加(インド・デリー)
2002.11.7	「第 2 回韓国国際災害軽減協力セミナー」(韓国行政自治部国家防災委員会主催)にリソースとして参加
2002.11.15	「ESCAP/OOSA 宇宙技術の防災利用ワークショップ」にリソースとして参加 <ADRC と NASDA の衛星の防災利用実験について紹介>
2002.11.11-15	「JUSTSAP(日米科学技術・宇宙利用プログラム)ワークショップ」にリソースとして参加<原油流出事故時の衛星利用プロジェクトについて協力要請を受ける>
2002.11.11-13	「国際捜索救助諮問グループ(INSARAG)・アジア太平洋会合」にリソースとして参加
2002.11.11-22	シンガポール市民防衛庁と共催で都市救援トレーニングを開催し、メンバー国の担当者を研修
2002.11.18-25	「WMO/ESCAP 台風委員会(タイ・チャンマイ)」に参加<台風委員会メンバー国・地域の防災インターネットリンク集を提案>
2002.11.21-23	「災害予防と軽減国際セミナー」インド政府、UNDP インド共催に参加<脆弱性評価と情報システムについて講演>
2002.11.24-28	「赤十字社・赤新月社連盟(IFRC)アジア・太平洋総会」において基調講演(フィリピン・マニラ)
2002.11.24-26	「アジア地震委員会 2002(ネパール・カトマンズ)」にリソースとして参加<建築物の地震リスク解析について講演>
2002.12.4-6	「ASEAN 地域フォーラム人道支援・災害救助セミナー」において基調講演(シンガポール)
2002.12.18	イラン赤新月社 Ardekani 事務総長、イラン内務省 Aryan 災害対策本部長等 24 名来訪
2002.12.19-24	「バングラデッシュ早期警報システム改良に関するトレーニング」をバングラデッシュ政府と共同開催
2003.1.14-17	NASDA・CRL・DAS・ADRC 共催 衛星防災活用実験
2003.1.15-17	「アジア防災会議 2003」(神戸)を日本政府、国連 ISDR 事務局、兵庫県等と共同開催 参加者数: 24 カ国 26 機関 250 名
2003.1.19-3.1	「JICA 防災管理者セミナー」(神戸市)開催

2003.1.30-31 及び 2.6-7	第7回震災対策技術展（神戸・横浜）に出展<NASDA との共同実験等>
2003.2.4-7	「メディア関係者防災研修」をラオス政府と共催（ラオス・ビエンチャン県）
2003.3.4-10	「WMO/ESCAP サイクロン委員会（パキスタン・イスラマバード）」に参加
2003.3.16-23	「世界水フォーラム」に参加。3つのセッションで講演。ADB 担当の「水と貧困」において ISDR 事務局と「リスクとともに生きる/持続可能な開発に向けて」のセッションを共催
2003.3.16-28	「国連災害評価調整チーム養成トレーニング」を国連 OCHA と共催（神戸）
2003.4.10-11	国連国際防災戦略(ISDR)タスクフォースメンバーとして、第7回 ISDR タスクフォース会合（スイス・ジュネーブ）に参加
2003.4.22-24	「地方政府職員防災研修」をカンボジア政府と共催（カンボジア・コンポンチャム州）
2003.4.24	鴻池防災担当国務大臣来訪、ひと未来館開館
2003.5.6-8	「地方政府職員防災研修」をカンボジア政府と共催(カンボジア・クラチエ州)
2003.6	20 世紀自然災害データブックを発刊
2003.6.10-13	「総合的災害リスクマネジメント政策（TDRM）」ワークショップを国連 OCHA 神戸と共催（神戸市）
2003.6.16-25	トルコ災害対応機関あて調査ミッション(トルコ・イスタンブール他)に参加
2003.7.14-15	GLIDE(世界災害統一番号)会議を ISDR、OCHA/Reliet Web、CRED、WMO と共催（スイス・ジュネーブ）
2003.8.4-11	スリランカ防災調査ミッション（スリランカ）に参加
2003.9.9-28	ロシア語圏防災行政管理者セミナー調査ミッション（カザフスタン、キルギス、アゼルバイジャン）に参加
2003.10.1-9	トルコ防災行政管理者セミナー（トルコ・アンカラ市）を実施
2003.10.4	地震防災をテーマに国際防災オープンフォーラムを国連大学、内閣府、ISDR 事務局、WSSI と共催（東京）
2003.10.16-18	第2回早期警報国際会議（ドイツ・ボン）に参加
2003.10.20-24	「SUMA(Supply Management)ソフト運用研修」をフィリピン政府と共催（フィリピン・マニラ市）
2003.11.6	国連国際防災戦略(UN/ISDR)と防災活動推進連携強化のために協定書を締結
2003.11.5-6	国連国際防災戦略(UN/ISDR)タスクフォースメンバーとして、第8回 ISDR タスクフォース会合（スイス・ジュネーブ）に参加
2003.11.17-20	「洪水管理関係者防災研修」をベトナム政府と共催（ベトナム・ハノイ市）
2003.12.2-4	「総合的災害リスクマネジメント政策（TDRM）」国際会議を国連 OCHA 神戸と共催（神戸市）
2003.12.15-19	ESCAP/WMO 台風委員会に参加（マレーシア・クアラルンプール）
2004.1.12-14	シンガポール市民防衛庁と共催で都市救援トレーニングを開催し、メンバー国の担当者を研修
2004.1.17	井上防災担当国務大臣来訪
2004.1.18-2.2	「JICA 防災管理者セミナー」（神戸市）実施

2004.1.29-30 及び 2.5-6	第 8 回震災対策技術展（神戸・横浜）に出展
2004.2.4-6	「アジア防災会議 2004」（カンボジア国シェムリアップ）を日本政府、カンボジア政府、国連 ISDR 事務局と共同開催 参加者数：23 カ国 24 機関 138 名参加
2004.2.24-25	地域コンサルティング会合を WHO 西太平洋事務所、ADPC と共催（フィリピン・マニラ市）
2004.2.26-28	台風委員会ワークショップ事前会合を UN/ESCAP と共催（韓国・ソウル）
2004.3.1-6	第 31 回 WMO/ESCAP サイクロン委員会（スリランカ・コロンボ）に参加
2004.3.9-17	トルコ防災行政管理者セミナー（トルコ・アンカラ市）を実施
2004.3.20-23	「都市地震防災関係者防災研修」をモンゴル政府と共催（モンゴル・ウランバートル市）
2004.3.23	都市における大水害をテーマに国際防災オープンフォーラムを国連大学、内閣府、ISDR 事務局と共催（東京）
2004.4.9-23	JICA からの依頼により「バングラデシュ地震防災調査」を実施
2004.5.3	GLIDE(世界災害統一番号)会議を ISDR,OCHA,CRED,WMO と共催（スイス・ジュネーブ）
2004.5.4-5	国連国際防災戦略(ISDR)タスクフォースメンバーとして、第 9 回 ISDR タスクフォース会合（スイス・ジュネーブ）に参加
2004.5.6-7	国連国際防災戦略(ISDR)タスクフォースメンバーとして、国連防災世界会議準備委員会第一回会合（スイス・ジュネーブ）に参加
2004.5.31-6.11	「トルコ防災行政官向けセミナー」（トルコ・アンカラ市）を実施
2004.6.17-18	「アジア防災・災害救援ネットワーク」の協議会を開催（マレーシア）
2004.6.28-7.8	「ベトナム洪水ハザードマップ訓練」プログラム（ベトナム）に講師派遣
2004.8.2-6	「防災ワークショップ」をタジキスタン政府と共催（タジキスタン・ドゥシャンベ市）
2004.8.23-9.27	「カリブ海防災データベース構築支援」（バルバドス）に専門家派遣
2004.8.24	皇太子殿下ご臨席のもと、大災害からの復興をテーマに国際防災オープンフォーラムを内閣府、ISDR、UNU、UNDP と共催（東京）
2004.8.30-9.17	「中央アジア・コーカサス地域特設防災研修」（神戸）実施
2004.9.20-10.1	「トルコ防災行政官向けセミナー」（トルコ・アンカラ市）を実施
2004.9.20-24	台風委員会ワークショップ（韓国・ソウル）に参加
2004.9.26-28	「日本－イラン地震時危機対応・対策ワークショップ」（イラン・テヘラン市）をイラン政府等と共催
2004.10.7-8	国連国際防災戦略(ISDR)タスクフォースメンバーとして、第 10 回 ISDR タスクフォース会合（スイス・ジュネーブ）に参加
2004.10.11-12	国連国際防災戦略(ISDR)タスクフォースメンバーとして、国連防災世界会議準備委員会第 2 回会合（スイス・ジュネーブ）に参加
2004.10.17-22	「UNOOSA 宇宙技術の防災利用ワークショップ」にリソースとして参加 <ADRC と JAXA の衛星の防災利用実験、WCDR へ向けた取り組みについて紹介>
2004.10.18	フィリピン政府から防災功労賞“カラサグ賞”を受賞

2004.10.18-21	アジア地震委員会 (ASC) 主催の防災シンポジウム (アルメニア・エレバン市) に基調講演者として参加
2004.11.16-18	UN/OCHA、イラン政府共同主催の「都市における地震防災のための方針と実践」セミナーに参加 <阪神・淡路大震災の経験と耐震設計基準の前進について紹介>
2004.12.6	村田吉隆内閣府特命担当大臣 (防災) 来訪
2004.12.28 -2005.1.5	インド洋津波被害現地調査 (スリランカ)
2004.12.30 -2005.1.2	インド洋津波被害現地調査 (タイ)
2005.1.7-11	インド洋津波被害現地調査 (インドネシア)
2005.1.11-2.18	JICA 研修「防災行政管理者セミナーコース」実施 (神戸)
2005.1.17	「国連防災世界会議プレシンポジウム～みんなで考える 明日の防災～」を内閣府、ISDR、兵庫県などと共同開催 (神戸)
2005.1.18-22	「国連防災世界会議」が開催され、各種セッション・ミーティング、総合防災展 (第9回震災対策技術展) に参画 (神戸)
2005.1.19	「アジア地域における総合防災政策と防災優良事例フォーラム(第7回ADRC国際会議)」を兵庫県、UN/OCHAと共同開催(神戸) 参加者数210名
2005.1.19	国連教育科学文化機関 (UNESCO) と防災活動推進連携強化のために協定書を締結
2005.1.22	UN/ISDR 主催「インド洋津波早期警戒システム構築に向けた検討会議」に参加 (神戸) <アジア防災センターの貢献できる分野について説明>
2005.1.26-31	インド洋津波被害現地調査 (モルジブ)
2005.2.3-4	第9回震災対策技術展 (横浜) に出展
2005.2.21-26	第32回WMO/ESCAPサイクロン委員会 (インド) に参加
2005.2.21-3.4	シンガポール市民防衛庁と共催で都市救援トレーニングを開催し、メンバー国の担当者を研修
2005.2.22-24	津波被災国の閣僚レベルを対象とした「ハイレベル行政官政策対話ミッション」をISDR、内閣府と共同で開催 (東京・静岡)
2005.3.1-5	インド洋津波被害現地調査 (インド)
2005.3.3-8	UNESCO 主催「インド洋の津波警報・被害軽減システム開発の枠組みに関する国際会議」にリソースとして参加 (フランス・パリ) <津波に関する住民の意識向上と情報伝達の取り組みについて紹介>
2005.3.7-18	津波被災国の防災担当者を対象とした「JICA 津波警報システム研修」を実施 (東京・和歌山・神戸)
2005.3.18	アジア開発銀行主催「津波被害国復興援助ハイレベル協議会」(フィリピン・マニラ) に参加
2005.3.28	UN/ESCAP 主催「第5回アジア太平洋環境と開発に関する閣僚会議2005」(韓国・ソウル) に参加 <インド洋早期警戒システムに関するアジア防災センターの活動と日本の災害について紹介>